

令和7年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験 第2次選考試験 模擬授業の実施について【中学校国語】

1 模擬授業の内容について

(1) 模擬授業①について

- ・第2学年において、「平家物語」を指導するに当たり、下記に示す資質・能力を育成することを踏まえて、単元の導入を模擬授業として行う。
- ・その際、単元の学習を通してどのような力を身に付けるのか、そのためにどのような学習をしていくのかということについて、生徒と共有すること。

【単元名】 第2学年 「平家物語」 (全4時間)

【育成を目指す資質・能力】

- ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ること。 [知識及び技能] (3) イ
- ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。 [思考力、判断力、表現力等] C (1) オ
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

(2) 模擬授業②について

- ・下記の単元において、討論する時間を下記の【学習過程】で示したように進めることとする。

【単元名】 第2学年 立場を尊重して話し合う

【本時で育成を目指す資質・能力】

互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。
[思考力、判断力、表現力等] A (1) オ

【学習過程】

①課題を確認し、見通しを立てる。

課題 互いの立場を尊重して話し合おう。

②グループ討議 (前半)

③中間交流

④グループ討議 (後半)

⑤学習を振り返る。

- ・「②グループ討議」において次のような学習状況となっている場合、「③中間交流」の過程において、後半のグループ討議につながるように、全体指導を行いなさい。その際、「本時で育成を目指す資質・能力」を踏まえて指導すること。

②グループ討議 (前半) の学習状況

- ・それぞれの立場で互いに意見を主張し合うだけである。

2 実施方法について

- ・説明会場にて、模擬授業の説明を受ける。その後、試験会場へ移動し、模擬授業を行う。
- ・模擬授業①②は、それぞれ入室から退出まで約8分間で行う。そのうち、受験者が模擬授業を行う時間は5分以内とする。
- ・入室後、指定された位置に立ち、志願種別と受験番号を言う。試験委員の「はじめてください」の合図で、模擬授業を開始する。
- ・掲示物等の提示や黒板への記入等を行わず、口頭のための模擬授業とする。掲示物や資料があったり、黒板に書いてあったりするものと想定して模擬授業を行っても構わない。
- ・持ち込み可能なものは、2次試験前に準備したメモ（A4サイズ1枚）のみとする。
2次試験当日までにメモを作成して、メモを見ながら授業を行っても構わない。
メモは評価の対象とはしない。提出は不要とする。

【メモについて】

- ・A4サイズ1枚（両面使用可）とする。
 - ・授業案、口述原稿など、模擬授業に必要な内容を自由に書いてよい。
 - ・本や教材などをコピーしたものでも可。
 - ・メモを道具（教材）と見立てて示したり、黒板等に掲示したりすることはできない。
- ・模擬授業①②では、試験委員を生徒と想定して模擬授業を行う。ただし、試験委員とのやり取りは一切できない。